



## 第13回青山68会展を終えて

上村 昌司 (68回)

60卒

平成16年から開催された作品展も13回を迎えました。昭和35年に卒業した同期生が書画や工芸品を持ち寄り、昨年も11月23日から5日間、新潟市美術館で開催されました。同時開催の子供さん向けイベントにも助けら

れ、親子連れなど幅広い年齢層の方々多数ご光来いただき、木目込み人形、帆船、書画や写真を興味深くご覧いただきました。誠にありがとうございました。

市美術館の設計者は新潟市生まれの前川國男氏で、昨年世界文化遺産に登録された上野の国立西洋美術館の設計者でもあります。お年寄りを気遣ったスロープを設けたり、落ち着いた色彩で心地よい空間作りに心配りがなされているように感じます。このような環境に展示できましたことは名譽なことでありこの上ない喜びです。

作品展は回を重ねることに充実した作品が増えております。我々は後期高齢者を迎えつつありますが、今までの人生経験を生かし、それを表現した作品が

増えてきました。ご高齢の方々を始め幅広い年齢層に共感いただけるものと思います。是非ご高覧賜れば幸いです。

年を重ねて参りますと、つい出不精になり家に閉じこもりがちですが、天気の良い日を見つけてスケッチに出かけては如何でしょうか。自然と対面し描いている時間は他のことを忘れ夢中になれる時間です。またボケ防止にもよろしいかと思えますのでチャレンジをお勧めします。私もうまく描けません、時を忘れて熱中できることを幸

せに思います。

私は毎回茨城から出展しています。平成23年の東日本大震災では家は幸い持ち堪えました。が、壁と柱にはヒビが入り食器や本など家財道具が散乱、復旧には2ヶ月かかりました。

所属する絵の同好会の家屋も崩壊し、仮部屋を転々としましたが、メンバーの熱意で定住地を探し現在に至っております。年を重ねる毎にふるさとを思う気持ちは強くなります。これからも県外からですが68会作品展を応援し続けて参ります。